

倉真防災検討会

ー 地区・市民団体・行政 が 協働 で取り組む ー

倉真防災検討会

活動報告

- 1 まちづくり委員会の概要
- 2 防災検討会の取組み
- 3 「減災手帳」をつくる
- 4 「減災マップ」の見える化

倉真まちづくり委員会

はじめに





2012/12/27

倉真小学校付近の茶畑と水田の風景 初夏



2011/12/18

4区からいちご団地を見る

4月に開通した新東名掛川PA（2009頃）



上りPA

第2PA

下りPA

倉真まちづくり委員会 は **これまで10年**

住民の自助努力

+

行政との協働

で

地区の重要課題 に取り組む

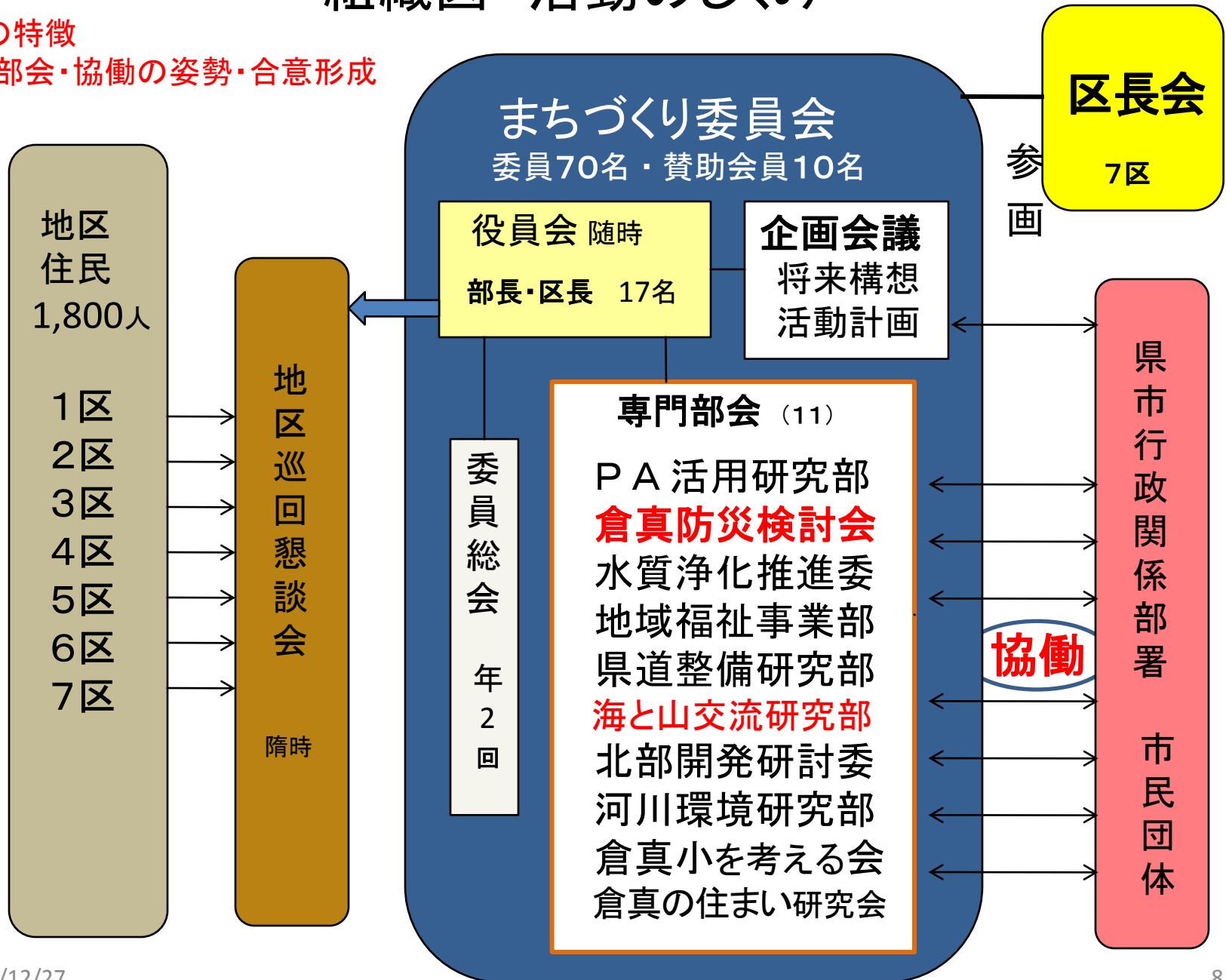
自立した地区 を目指しています

(平成15年度 市とまちづくり計画協定を結ぶ)

組織図 活動のしくみ

3つの特徴

専門部会・協働の姿勢・合意形成



重要課題ごとに

11の専門部会 が活躍中

建設・福祉・環境・地域開発・教育・人口 集中的・長期的に

倉真地区まちづくり委員会 専門部会の紹介

県道整備研究部

得るための調整等、安全な道路の早期実現に取り組んでいます。



県道狹隘箇所での児童の通学風景

PA活用研究部

に取り組んでいます。



富士川楽座視察ヒアリング

地域福祉事業部

取り組んでいます。



学童保育

水質浄化推進委員会

「中野川流域水質浄化事業」等を通じて、生活排水の浄化に取り組んでいます。



浄化槽設置工事

河川環境研究部

な農村環境の保全と質的向上に取り組んでいます。

2012/12/27



倉真川見学会

倉真小を考える会

数100名程度を目標とした時に必要な地域活性化施策の検討等に取り組んでいます。



市長を交えた考える会

北部開発検討委員会



北部開発検討区域の現地踏査

辺地債事業研究部

います。



金谷大代地区の皆さんとの協議

倉真の住まい研究部

等の検討に取り組めます。



(仮称)倉真の住まい研究会の立ち上げ準備

倉真地区防災検討会 23年～

海と山の交流研究部 23年～

2 防災検討会の取組み



減災手帳の検討



防災マップの作製



防災課題の抽出

防災検討会設置のきっかけ(1)

東北大震災

3.11

- ・津波だけではない！
- ・新聞・TVで
だんだん分かってきた

・**山間地に大きな被害！**



昨年**8月**「市民の会」を招いて勉強会

「東日本大震災から倉真を考える」

東北 山間地の被害

**ため池決壊、土砂くずれ、土石流、
道路不通、音信がなく孤立した部落**



倉真にも **同じような危険があるぞ〜！**



防災検討会設置のきっかけ（2）

避難勧告の発令

・**9月に台風襲来**

- ・強風で大きな被害
- ・洪水と山間部道路不通

突然の事で**びっくりました！**
どうしてよいか**とまどった！**

住民の声（本音）

避難したのは たった 7世帯 / 地区500世帯（1.4%）



これで またびっくり！

倉真の防災対策は これで良いか？

問題点

多くの人が **NO !**

- ・行政まかせの防災計画、マンネリ化した訓練、
- ・身を守る知識 と 事前の備え が不充分(自助)
- ・隣組での助け合いが具体的にない？(共助)



まず

「家庭・隣組での話し合い」

「情報共有と現実的な対策」が必要！



住民主体の「**防災検討会**」を立上げた

協働で考える「防災検討会」 約40名で編成

地区・市民団体・行政 の参加者と役割

倉真地区

区長会、自主防災会、まちづくり委員会、
消防団、学校、学習センター、ため池管理者、
民生委員、女性部、学童保育、農協・農業委員
駐在所、企業、など15

地区の情報
計画・対策・訓練
住民の共通認識

掛川市

危機管理部、農林課、
道路河川課、IT政策課、
職員支部、協働推進課
など6

全市調整 専門知識
公助 情報

市民団体

震災支援掛川市民の会
掛川シニア交流研究会
災害VC掛川、BRS
など4

8月29日内閣府が公表

死者 最悪10万人余

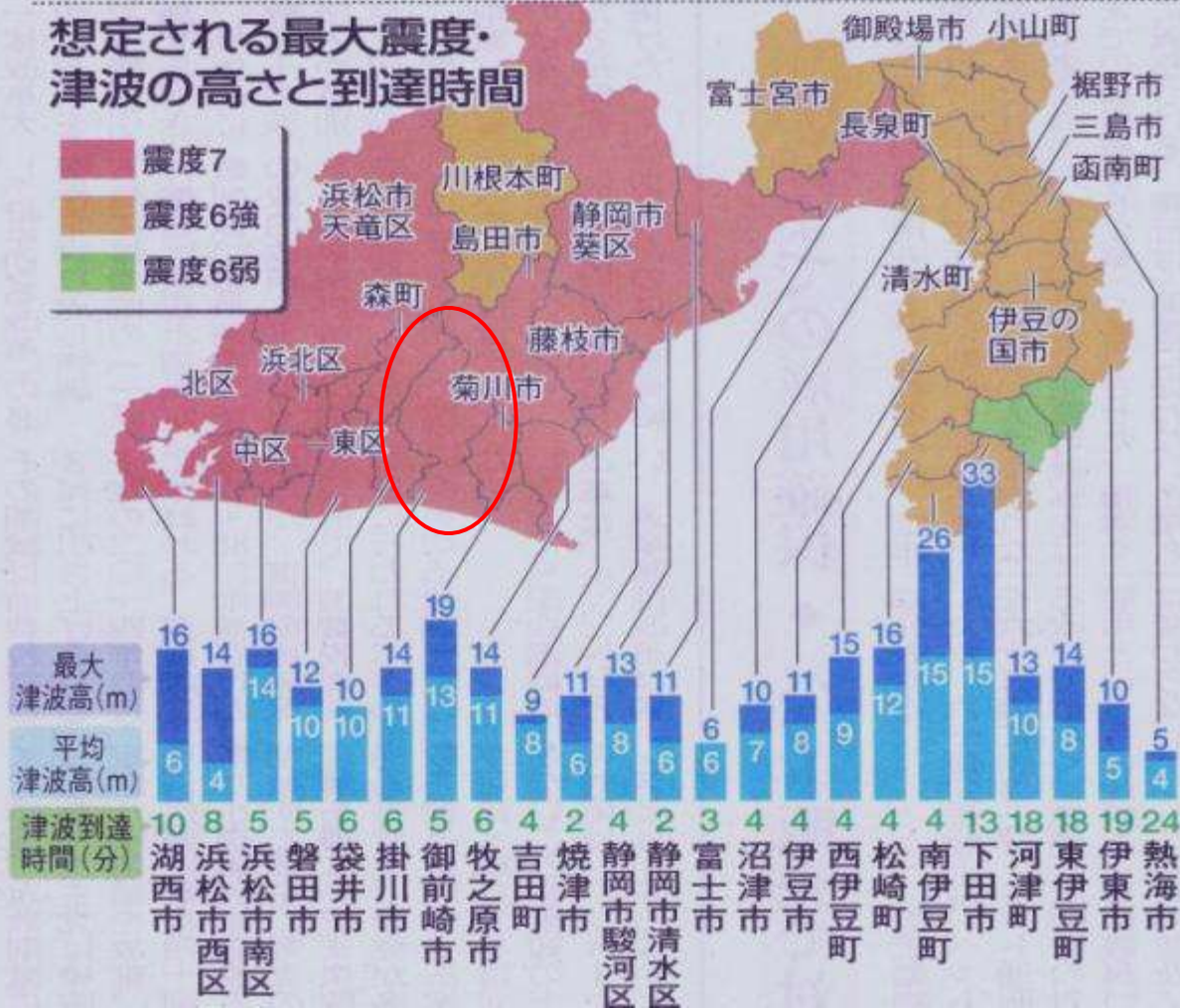
南海トラフ地震で新想定

30都府県32万人津

駿河湾から四国沖に延びる海溝「南海トラフ」沿いでマ

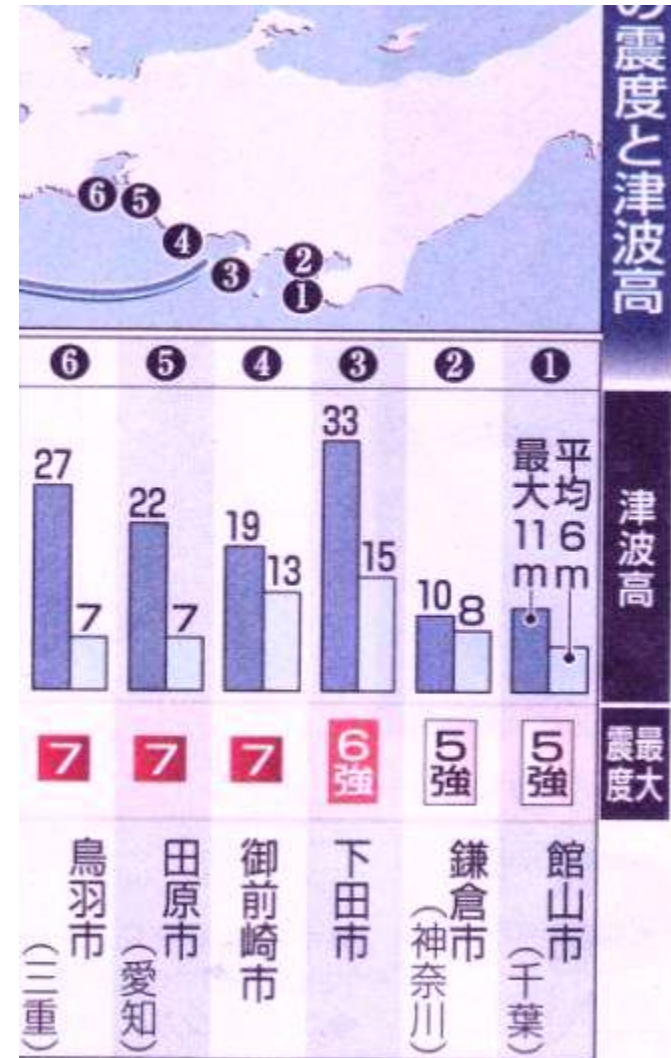
発生確率

想定される最大震度・
津波の高さと到達時間



1分間続く **震度7** (神戸淡路大震災は十数秒)

激震から どう生き延びるか!!



- ・南海トラフ巨大地震の想定

掛川は 震度 7 ほとんどの建物が損壊！

- ・阪神・淡路大震災では

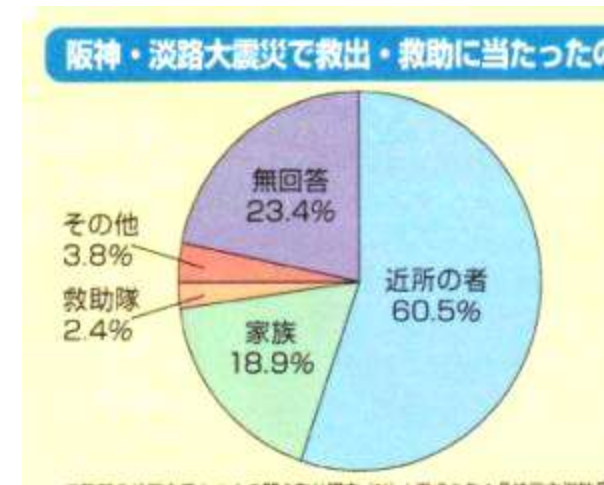


- ・亡くなった人の**80%が建物の倒壊**によるもの
- ・発生後**6時間で86%**の方が死亡

発災後6時間をどう乗り越えるか

- ・早期の救助が必要だが
消防や自衛隊はすぐに来ない！
- ・救助に当たったのは

家族や近所の方



発災時の行動・役割

[検討会が取り組む減災対策表]

隣組 共助

救助・助け合い、要援護者、避難時判断、情報受発信

個人・家族 自助

自分の身を守る、火災予防・初期消火、安否と連絡

地区 共助

情報収集、緊急連絡、ヘリ等の支援要請、助け合い支援、

行政 公助

人命救助、救急搬送、食料・物資の補給、対策指揮

協働 協働

情報の共有

事前の減災対策 での役割

[検討会が取組む減災対策表]

隣組 共助

日頃の交流、約束事、
消火・救助訓練、減災
機器、備蓄

個人・家族 自助

家の補強、家具転倒
防止、非常持ち出し、
備蓄、連絡先

地区 共助

自主防、減災訓練
土砂崩れ等危険個所
調査

行政 公助

危険個所対策、減災
工事、全市調整

検討会 協働

減災計画、救援策、
無線連絡網、避難
所運営

検討会が取り組むテーマの整理

今日の
事例

隣組 共助 自分・家族 自助

- ・ 自分を守る知識・対策を充実する
- ・ 隣組の助け合いを促進する 10~20戸

- ・ 話し合いのツール「わが家の減災手帳」の作成
- ・ 実情に合った対策・実効ある訓練演習

地区 協働

地区の危険個所対策 土砂災害、道路
不通、ため池、洪水・土石流等

発災時の救援策 無線連絡網、ヘリポート
設置、緊急道路確保等

避難所の運営 生活快適化検討

行政 公助

全市調整
地区減災手帳・マップの
IT化等 **水平展開検討**

自分の身を守る、近隣で助け合う(自助・共助)
ために

重要

家族や隣組でよく話し合うこと！

問題点

↓
・話し合うための良いテキストがない

↓ 住環境・具体性・便利なこと

自分達で 作ろう 3月～
「わが家の減災手帳」



4 減災手帳をつくった

減災手帳の内容

- ・自分の身を守る **基礎的な知識と対策**
- ・家族や隣組の **約束ごとの記録**
- ・読みやすい **大きな文字と絵** で



- ・ **11月12日 組長説明会・意見交換**
- ・ **11月の常会 全世帯配布、話し合いに活用してゆく**

説明会の様子



4 減災マップの見える化



ハザードマップを作ってみよう

23/12/8 第2回 査真防災検討会

〔検討用の想定〕

- ・昼ごろ 震度7の地震があり、多数の家屋が倒壊した
- ・けが人 病人あり！ 救急搬送と避難をどうするか

今日のテーマ

発災後6時間・1日をどう乗り越えるか

- ① ハザードマップの作成
災害の様相を具体的に認識する
- ② 救急と避難 の話し合い
緊急通信、病院への搬送方法

(およその時間配分)

自己紹介 簡単に 5分
進行、書記、発表者決め 5分
マップに危険箇所記入 30分
救急、避難の話し合い 20分

12～2月 4つの分科会でマップ作り



- ・地区のハザードマップ。
- ・手書きで作成 → その後使わないマップ。



生かす工夫

「ホームページ」に掲載・情報共有
地区内、対策本部、防災関係先、



「写真を貼る」 一目瞭然、

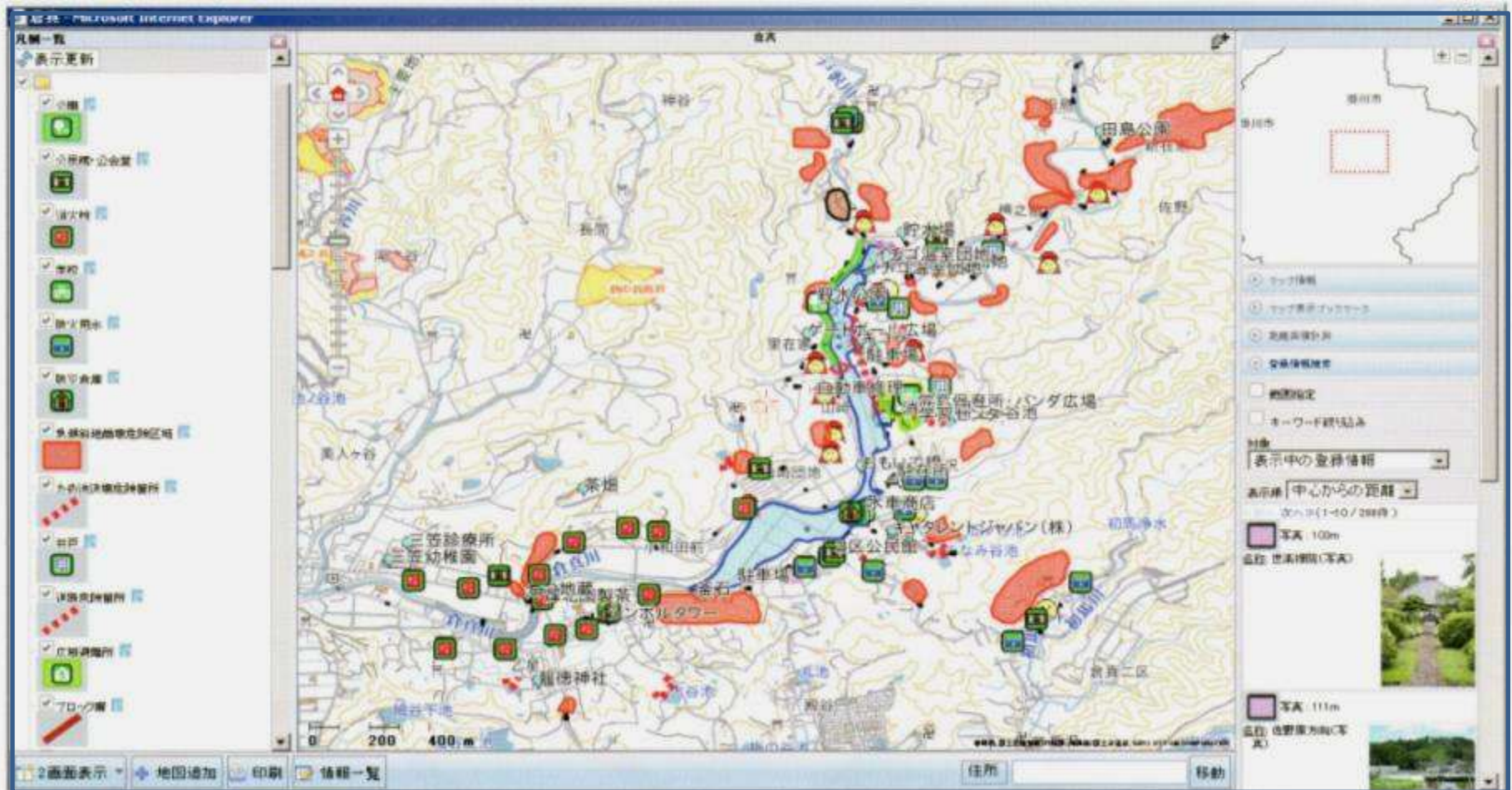
画像をご覧ください！

「減災見える化マップ」とは

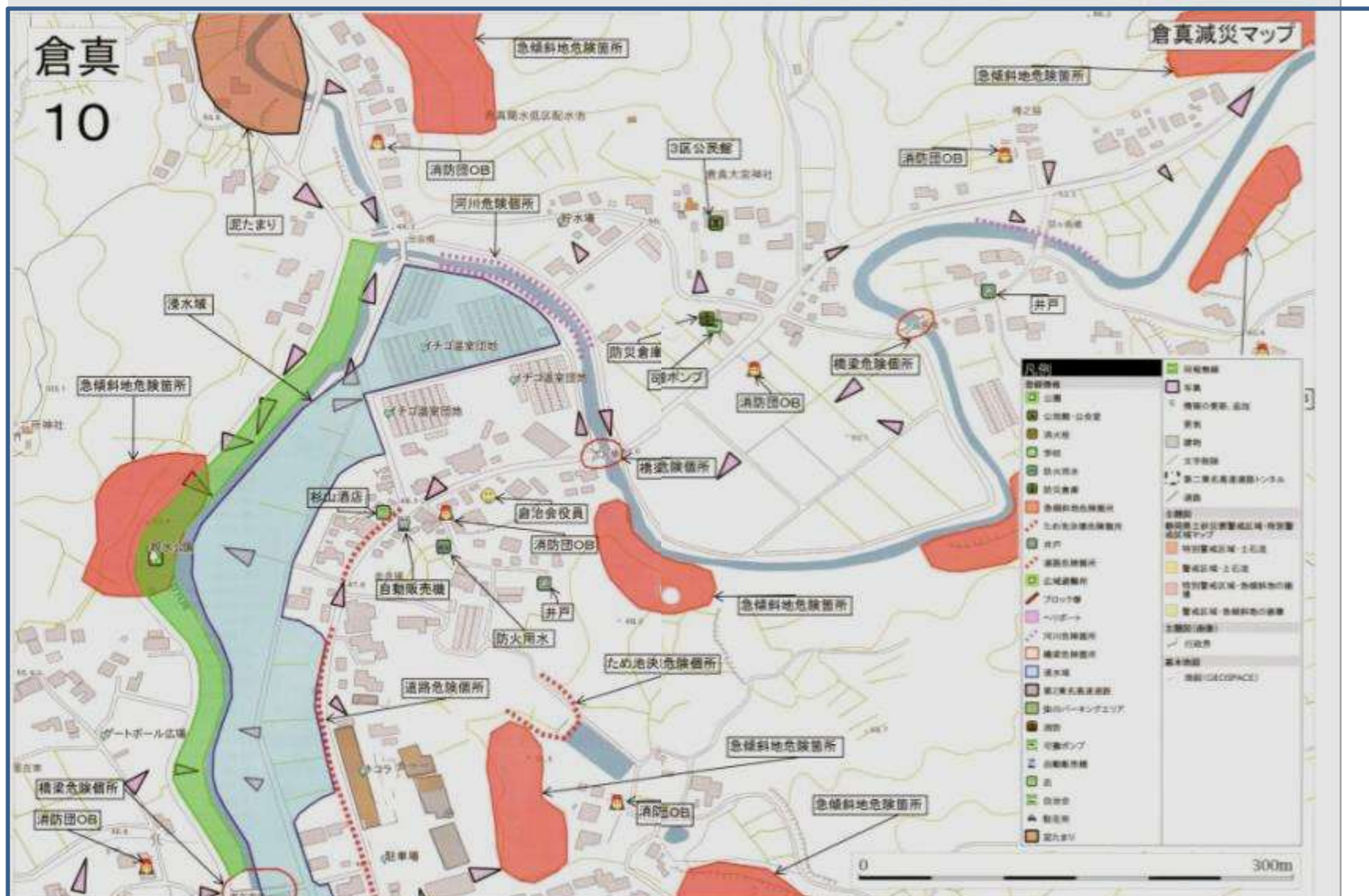
減災見える化マップ

倉真の減災マップでは、災害時に知っておきたい情報を見ることができます。

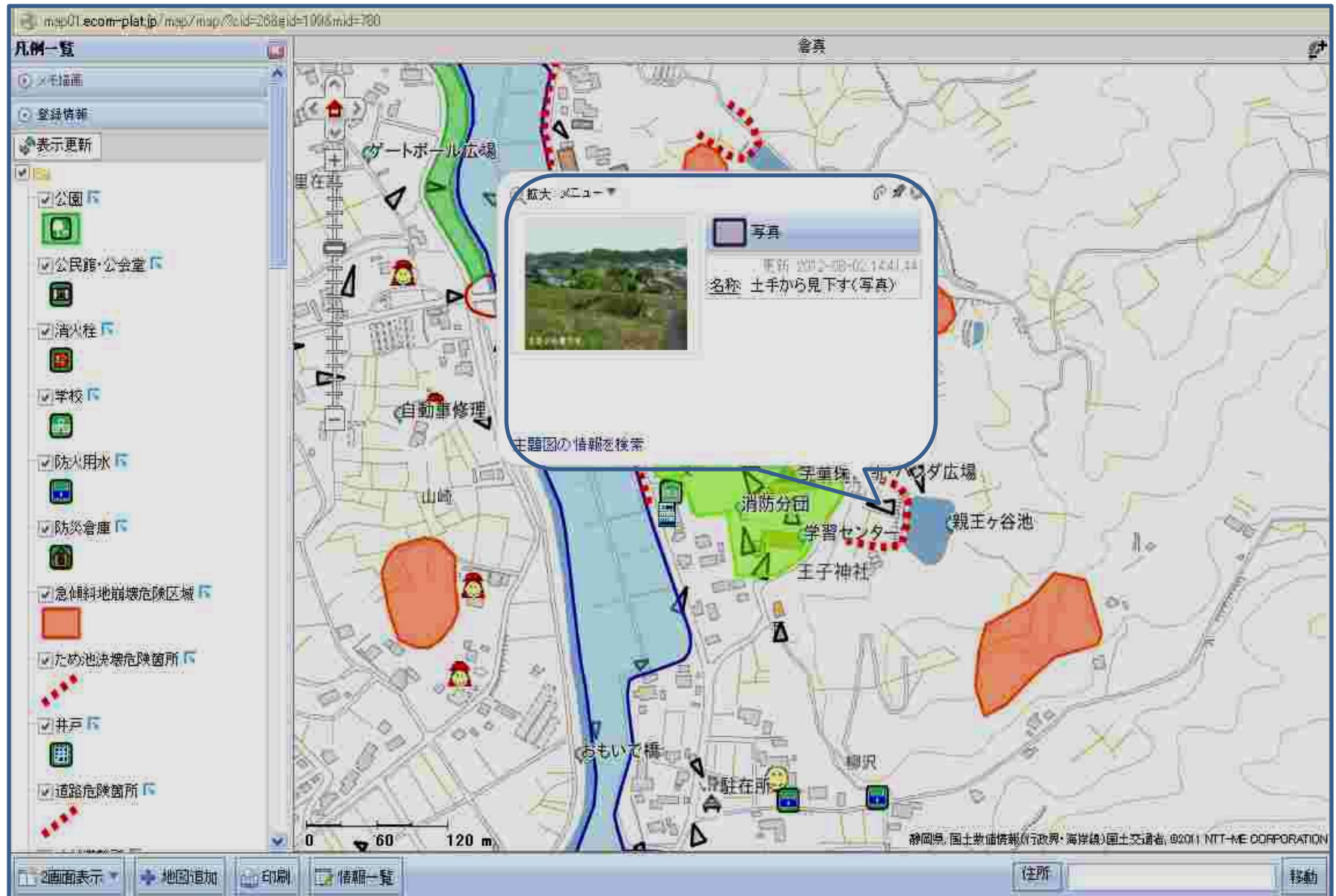
ため池決壊危険箇所や浸水域、防火用水やヘリポートの場所など、地域のみなさんで作上げた情報がたくさん詰まっています。



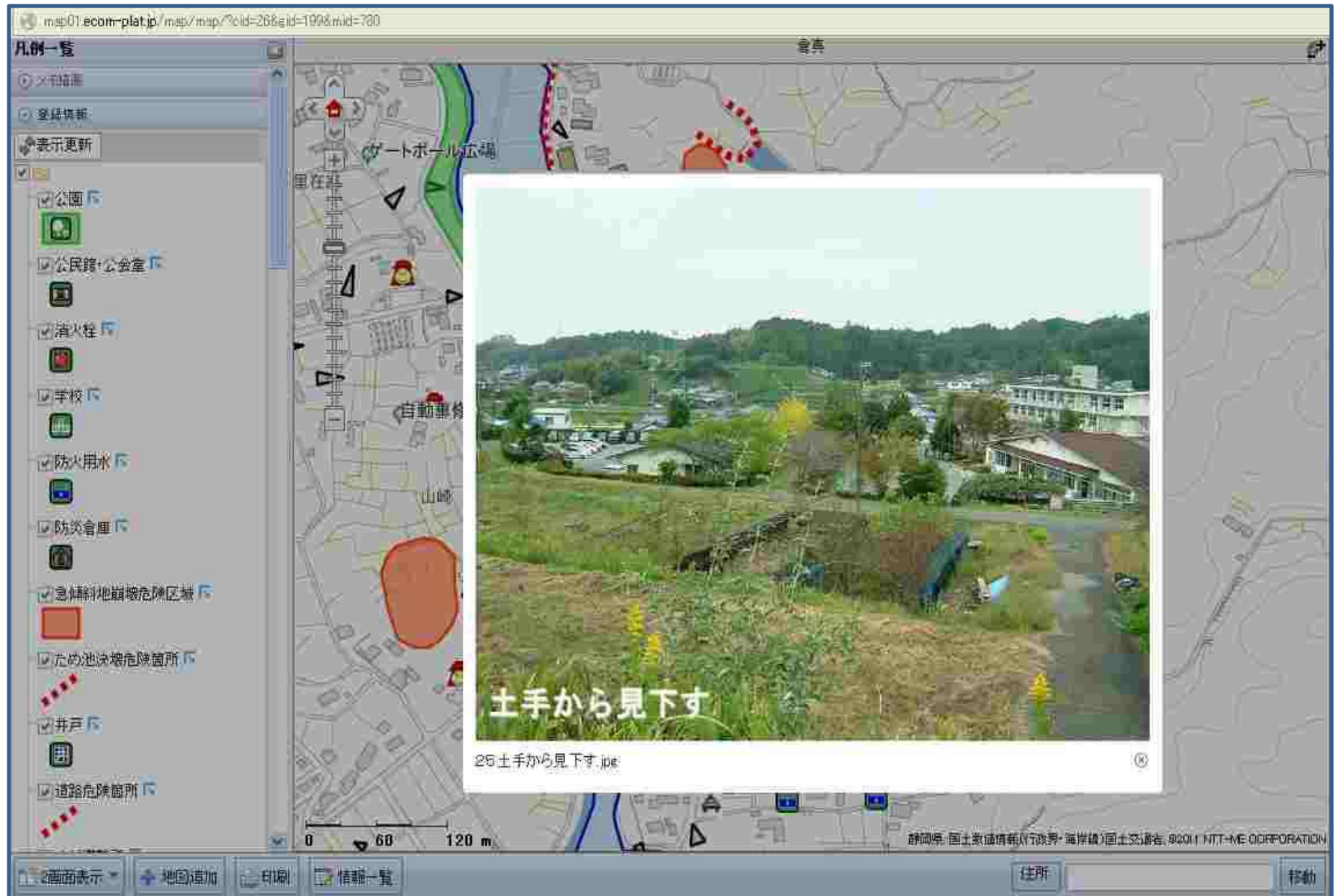
減災見える化マップ拡大画面



写真(三角)のアイコンをクリックすると



写真が拡大します



- ・パソコンの画面でご覧ください。
- ・操作は簡単です。

- ①インターネットで「eコミ 倉真」と検索します。

- ②「掛川市お試し・eコミお試しサイト」をクリック。

- ③「掛川市お試し」のページが表示されるので
「マップを開く」をクリック。

5 課題の整理と今後の取組み

事前に取り組むべき

地区の課題の整理

1. 自分を守る知識の取得・対策の向上(自助)

知識情報の共有、家屋の補強、家具の転倒防止等

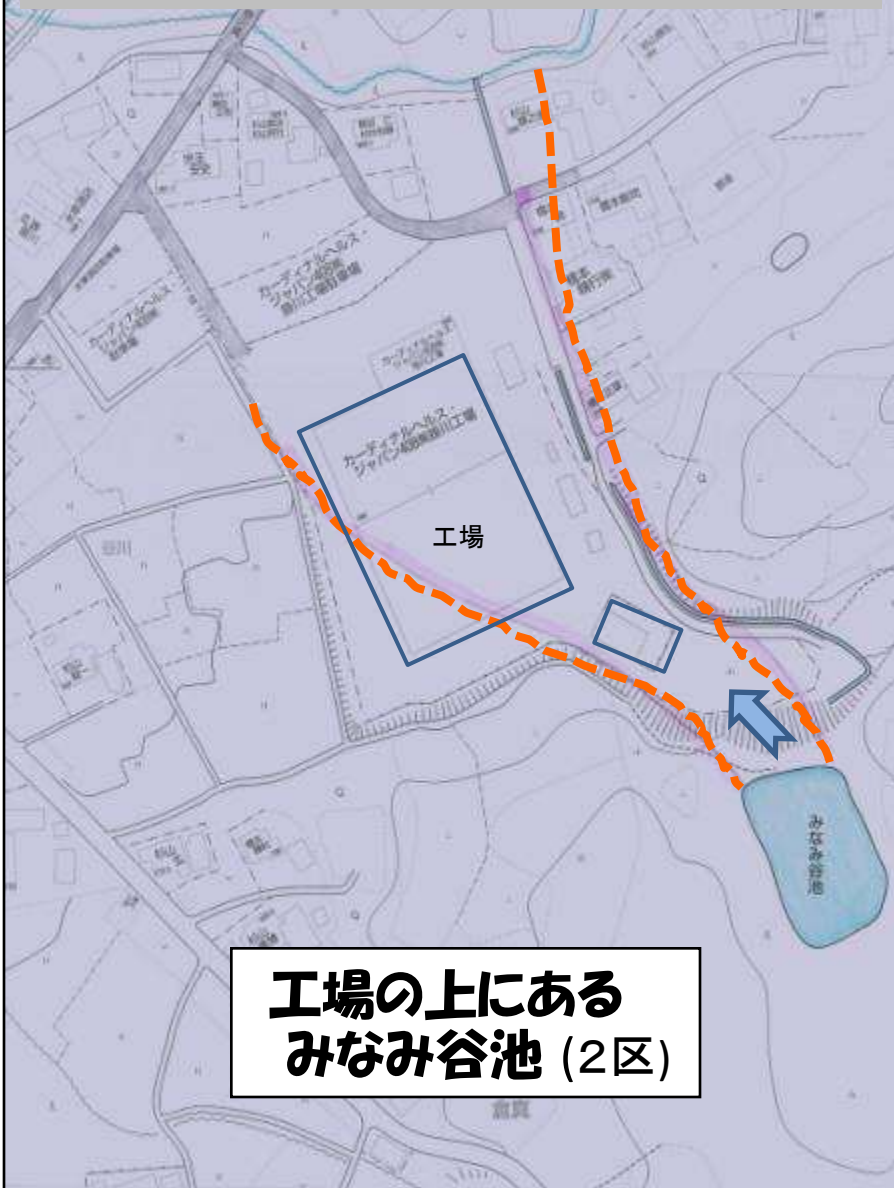
2. 隣組での助け合い促進(共助)

緊急情報、救助、要支援者、避難、約束ごと等

3. 減災対策事業、広域連携(協働・公助)

危険個所対策、ヘリポート、緊急連絡網

危険なため池の例



協働で 危険なため池の検討

- ・受益地の縮小検討
- ・堰堤の強度調査
- ・貯水量の減少検討
- ・管理の工夫

24・11・7

県、農業用ため池耐震化

震災教訓 決壊防ぎ下流域を守る

南海トラフ巨大地震など予想される大規模地震に備え、県は農業用ため池の耐震化対策をすすめる。ため池が決壊して被害を出した県内日本大震災を教訓に、下流域への影響を食い止めるが狙い。地震発生時の被害を軽減するため、池の耐震性を高める。市町と連携して、池の点検・整備をすすめる。

地盤危険度で優先箇所選別

ため池耐震対策の流れ
【2012～13年】
ため池のスクリーニング
(1)第3次、第4次地震被害想定による地盤危険度(想定震度、液状化)の把握
(2)地震発生による被害想定箇所の作成
(3)下流域への影響度の把握

優先箇所の整理
【2013年～】
ため池耐震の重点化
・耐震点検調査
・耐震工事

来年100か所を調査

県は本年度までに、池の耐震化の調査を完了し、来年100か所を調査する。池の耐震化の調査は、池の構造、地盤、受益地の状況などを調査する。調査の結果、池の耐震性を高める必要がある箇所を特定し、耐震化の優先順位を決定する。また、池の耐震性を高めるための対策を講ずる。池の耐震化は、池の構造、地盤、受益地の状況などを調査する。調査の結果、池の耐震性を高める必要がある箇所を特定し、耐震化の優先順位を決定する。また、池の耐震性を高めるための対策を講ずる。



6時間で死亡86%.遠い救護所 緊急ヘリポート候補地

- ・ 2区 茶工場跡地
- ・ 3区 キコラ駐車場
- ・ 5区 倉真温泉バス停付近
- ・ 6区 ・ ・ 検討中 ・ ・



*** 地域の無線連携
4,5,6区を中心に**



倉真温泉バス停付近

緊急無線連絡網の検討

24年2月現地実験

学習センターに基地局を設置 倉真の全域をカバー

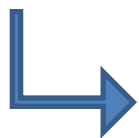
心配した山越えも感度良好！

デジタル無線機
携帯局 20台



今後のスケジュール

- ・**減災手帳と減災マップ**

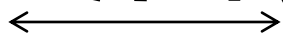


- ・11月に説明会 地区内配布済
- ・隣組の話し合いに活用してゆく

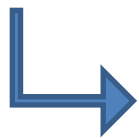
- ・地区の**危険個所対策** ため池、土砂くずれ、等



- ・発災時の**救援策** ヘリポート、無線連絡網、備蓄品 等



- ・**避難所運営検討**



- ・継続して検討会で取組む

堆砂垣防波堤
防災リーダー研修

外部との協働



150年かけて **地域住民が造成** してきた
遠州灘の斜め海岸林(国内唯一)

堆砂垣防波堤

太平洋

上空より見た斜め海岸林

防災と開墾を一体的に行うこの造成技術は独自のもので他に存在しない。斜め海岸林は**防潮堤としての役割**も大きい。

昨年から 取組んでいること(1)

大東地区沿海部防災林

千浜東区・浜川区・三俣区

海と山の地区交流



倉真まちづくり委員会

堆砂垣に
使用する
粗朶の提供



4千本を運搬 軽トラ15台分

32名で粗朶の採取



運搬後に



倉真の粗朶、大東海岸へ

遠州灘の砂浜に立てて砂の散逸防ぐ

海と山の交流に向け初実践

大東に流る粗朶を刈り取って東にする作業を行う漁民の人たち

大東海岸の砂浜を保全する雄砂垣の設置作業が20日、住民らでつくる海岸防犯林保護会によって行われた。作業に当たっては砂止めとなる粗朶（そだ）が市南部であまり取れなくなっていたため、今回は初めて市北部の真賀で粗朶を砂浜に埋め込んだ。提供した真賀地区の歴史有志は、これを機に南北交流を進めたい」と話す。

波打ち浜から少し離れた砂浜に竹を立てて粗朶をくり、その前（海面）に粗朶を縦横の枝り（しげ）を埋め込むのが雄砂垣だ。古くから行われてきた防災安全の手立て、前線に立てて砂の散逸を防ぎ、砂を盛り上げることで砂浜形成

にも役立ってきた。大東地域では海岸防犯林保護会が首領を取って、この雄砂垣づくりを毎秋続けに行っている。だが、この数年は竹の前の

山は海の恋人



昨年から取組んでいること(2)

テーマ 発災後の6時間をどう乗り越えるか！

防災リーダー研修 基礎講座

災害現場で役に立つ知識、ノウハウを身につける

・減災手帳をテキストとして活用

・地区の対策と進め方を議論



千エンソーの実技訓練に全員が取り組む



救急搬送の実技訓練





屋根からの救出訓練

実践能力を高める！

区長の推薦が必要

防災リーダー研修基礎講座

第4回講座（都市部対象） 生涯学習センター

12月4日(火)・12日(火)

第5回講座（沿海部、都市部対象） 掛川市役所

1月27日(日)・2月3日(日)

第6回講座（山間部対象） 徳育保険センター

2月10日(日)・11日(祝)

掛川減災研究会

平成24年度 掛川市まちづくり協働推進事業

(NPO掛川シニア交流研究会・東日本支援掛川市民の会・掛川市危機管理課)

ご清聴 ありがとうございました。